



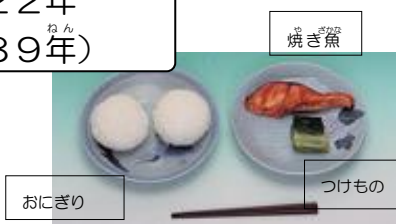
2024
がつごう
1月号

1月22日(月)～1月26日(金)
いばらきしがっこうきゅうしょくしゅうかん
茨木市学校給食週間

1月22日(月)～1月26日(金)は、学校給食週間です。給食について考え、日ごろから給食にかかわっている人々の苦労を知り、感謝の気持ちをあらわす週間です。
今年度の給食週間の献立は「給食の歴史」がテーマです。給食のはじまりにちなんだ献立や戦後の食糧不足の時にアメリカなどから救援があったことからアメリカ料理などの献立が入っています。

～学校給食の歴史～

明治22年
(1889年)



山形県鶴岡市の忠愛小学校でお弁当を持ってくるこ
とができない子どもたちのために、おにぎり、焼き魚、
つけものといった簡単なものをお昼ご飯に出したことが
学校給食のはじまりだそうです。

昭和22年
(1947年)



戦争(第二次世界大戦)により、一時中止していた給食
が始められました。脱脂粉乳は、牛乳から脂肪分をぬき、
乾燥させて粉にしたものです。これをお湯で溶かして飲
んでいました。

昭和27年
(1952年)



全国にパン、ミルク、おかずがそろった完全給食が
広がっていきました。手に入りやすいくじら肉がよく
食べられていました。食器は、アルマイト(アルミで
できた)の食器でした。

現在の給食



栄養バランスがよくなり、季節の食材を使用した
料理、郷土料理、世界の料理などさまざまな献立が
取り入れられています。

学校給食は食べものを育てている人、食材を届けてくれる人、
給食を作ってくれている人などたくさんの人のおかげでできています。
いろいろな食べものをいただけることに感謝して食べましょう。

